

2024年度 土佐清水市立三崎小学校 学校経営方針

2024年 4月 1日
土佐清水市立三崎小学校長
平 林 也 奈

1 はじめに (私の原点)

いつの日か、かならず
だれもかれもが力いっぱい のびのびと生きてゆける世の中
だれもかれも「生まれてきてよかった」と思えるような世の中
じぶんをたいせつにすることが 同時に人をたいせつにすることになる世の中
そういう世の中をこさせる仕事が きみたちの行くてにまっている
大きな大きな仕事 生きがいのある仕事

2 年度はじめにあたり (安心・安全・生命)

- (1) 自分自身を大切に、家族を大切に⇒教職員を大切に、地域・保護者を大切に
そして、何よりも子どもたちを大切にできる三崎小学校教職員集団であり続けたい
また、すべての人たちを「認め、かばい、許し合える教職員集団」であってほしい
- (2) 三崎小学校はこんな学校、こんな学校にしていきたい
長年、私は人権・同和教育を中心に据えた学校、学級、授業づくりを意識し、子どもたちの学力・進路保障のとりくみを進めてきました。

“つながり”
～みんなが みんなに やさしい三崎小学校～

- ①学校は学ぶところ⇒●人としての生き方を身につける ●学力をつける
●体力をつける ●身を守る力をつける
- ②学校はのびのびと過ごせる楽しいところ
⇒●自分が大切に思われていると感じられる ●なかまを大切にできる
●何でも話せる ●何でも聞いてもらえる
- (3) 子どもを中心に⇒子どものプライド、分かってほしいという強い願い
●どのように伸ばせるのか どれだけ寄り添えるか
●1年間プロとしての責任と自覚をもって⇒学校・学級経営 授業改善
- (4) 三崎小学校に集うものが一丸となって、それぞれが、それぞれに、全体にかかわれる職場に
●子どものために ●自分のために ●家族のために ●仲間のために
- (5) 3つの伸ばすを合言葉に「強みを伸ばす・鍛えて伸ばす・みんなで伸ばす」
- (6) 危機管理
●報告・連絡・相談 ●早期発見・早期、複数対応 ●責任をもって命を守る
●プライドを守る ●時間を守る

3 おわりに

1年間よろしくお願ひします。ご縁があつて三崎小にこのメンバーが集うことになりました。とにかくみなさんが健康で心穏やかな生活ができることを願ひます。そして、1年限りのこのメンバーで三崎小の子どもたちのために、信頼関係を築き、力を合わせて頑張りましょう。
“つながり”～みんなが みんなに やさしい三崎小学校～を創りあげていきましょう。

学校経営方針

1 基本方針

日本国憲法、教育基本法、関係法規・規則、学習指導要領、土佐清水市教育行政方針に沿った、適切な教育計画と教育課程に基づき、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と、変化の激しい社会において力強く生きていくための実践力を身に付けた児童の育成に努める。

2 学校経営理念

学校経営理念 『つながり ～みんなが みんなにやさしい三崎小学校づくり～』

- ◆強みを伸ばす学校
- ◆鍛えて伸ばす学校
- ◆みんなで伸ばす学校

第3期高知県教育振興基本計画及び、土佐清水市教育振興基本計画の取り組みの方向性Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳについては、特に積極的に取り組む。

Ⅰ 「チーム学校の推進」

- ◇教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことによって、組織的な授業力の向上や生徒指導の充実を図る。
- ◇外部の専門家や地域の人材の力も活用して、目標の実現や課題解決を図る。

Ⅱ 「厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実」

- ◇貧困の世代間連鎖を教育の力で断ち切ることをめざして、放課後の加力指導や個別指導を実施し、「厳しい環境にある子どもへの支援」を徹底する。
- ◇特別支援教育の視点から、個に応じた学習活動の充実を図る。

Ⅲ 「デジタル社会に向けた教育の推進」

- ◇1人1台端末を活用し、情報活用能力や論理的な思考力を身に付けることができるよう、ICT活用力の向上やプログラミング教育等の充実を図る。

Ⅳ 「地域との連携・協働」

- ◇地域と学校が力を合わせて子どもたちを支え育てていくために、家庭・学校・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる仕組み作りに努める。

3 学校教育目標

やさしく かしこく たくましく — 共に高まる三崎っ子 —

【めざす学校像】

- ①自ら学び、自分の考えをまとめて表現する力を持つ子どもの育つ学校
- ②豊かな心で、認め合える子どもの育つ学校
- ③地域に愛され、地域を愛する子どもの集う学校

【めざす児童像】

- ①自ら学び、考え、行動できる児童
- ②心豊かで、思いやりのある児童
- ③健康で、粘り強い児童

【めざす教職員像】

- ①一人ひとりの子どもをしっかりと伸ばせられる教職員
- ②子どもの心を大事にし、保護者の願いに応えられる教職員
- ③子どもと共に学び、人間的な触れ合いのできる教職員
- ④絶えず研鑽に努め、高まろうとする教職員
- ⑤チームとして取り組むことができる教職員

4 指導の重点

(1) 確かな学力の育成

- ①学級経営を土台とした学習規律の徹底と学習習慣の確立
- ②知識・技能の確実な習得、学び方の確実な指導
 - ◇学習への意欲や興味・関心を高め、学ぶ態度を育てる指導と評価の工夫をする。
 - ◇学習活動への支援や評価の工夫をする。
 - ◇児童の実態に応じた習熟や発展のあり方の工夫をする。
- ③自分で考える力、表現する力の育成
 - ◇言語活動の充実と思考力・判断力・表現力を育成する授業に改善すると共に、探求型授業づくりを実践する。
- ④特別支援教育の育成
 - ◇一人ひとりの特性や能力に応じた教育内容・指導方法の工夫に努める。
 - ◇全教職員で情報共有を図り、個への指導・支援の充実と共感的理解を深める。
 - ◇児童及び保護者、地域の特別支援教育への理解を促す。
- ⑤家庭学習の充実

(2) 豊かな心の育成

- ①道徳教育の推進
 - ◇道徳化の授業を充実し、児童の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
 - ◇体験活動を生かし、家庭・地域とも連携して、道徳的実践の指導の充実に努める。
- ②人権教育の充実
 - ◇子どもの自尊感情や自己肯定感を大切に育む。
 - ◇人権を大切に作る人間性豊かな子どもの育成をめざす。
- ③豊かな情操の育成
 - ◇人や自然との触れ合いを大切にし、体験を通して豊かな感性を養う。
 - ◇音楽・図工教育、読書活動を中心に豊かな心情を育て、表現力・想像力を伸長する。
- ④生徒指導の充実
 - ◇いじめや不登校の未然防止、早期発見・早期対応に重点をおく。
- ⑤特別支援教育の充実
 - ◇校内支援委員会及び関連機関との連携

(3) 健やかな体の育成

- ①基本的な生活習慣の確立
- ②健康教育の推進
- ③体力の向上
 - ◇体育授業や日常的な体育活動、体育的行事等を通して、バランスのとれた体力・運動能力の向上を図る。

(4) 家庭や地域との連携・協働の推進

- ①家庭・地域と協働する教育活動
- ②地域の人材を活かした教育活動の充実

(5) 保幼小中の円滑な推進

- ①保幼小中の組織体制の構築・充実
- ②保幼小中の学びの円滑な接続

(6) 防災・安全教育の推進

- ①全教育活動を通じた防災教育・安全教育の推進
- ②関連機関との連携・協働

(7) 学校における働き方改革の推進

子どもたちも教職員も、皆が幸せに・・・健康第一に！

5 優先的に取組みたいこと

(1) 学びに向かう力の育成

- ★算数科を中心としたわかる授業づくり
(学習規律と学習習慣の確立, 主体的・対話的で深い学びの追求)
- ★特別活動の充実(話し合い活動の充実～折り合いをつける力～)
- ★キャリア教育の充実(目標を持った生活, 将来を見据えた教育の推進)
- ★生活科、総合的な学習の時間の充実(ふるさとをフィールドにした探究的な学びの充実)

算数科を中心とした授業の改善を校内研究の中心として取組を進めます

(2) 安心・安全な学級・学校づくり

- ★学級経営・集団づくりの充実(一人ひとりを大切にした学級・学校経営)
- ★人権教育(いじめや差別・暴力の根絶、部落差別問題学習(地域教材))
- ★道徳教育の充実(規範意識の確立)
- ★防災教育の推進(ふるさと・防災学習)
(地震・津波対策, 大雨・洪水土砂災害、台風等の自然災害, 不審者対策等)

各種関係機関等と連携し、安全教育はもちろん安心安全な学校づくりの取組を進めます

(3) 家庭・地域との連携

- ★学校運営協議会、開かれた学校づくり(情報の効果的な発信, 地域の力を学校へ)
- ★福祉活動等の推進(社協、民生委員等と連携した子ども民生委員の取組)

開かれた学校づくり推進委員会を中心的な組織として学校運営協議会を設置し取組を進めます